ケアラー支援を実施している民間支援団体に関する実態調査結果

調查目的

ケアラー支援に関する民間支援団体等が行う相談・助言、ピアサポート、日常生活支援等の活動、団体の運営や支援の実施においての課題等を把握し、団体に対する支援を検討するとともに、ケアラー支援に関する施策を総合的に推進するための資料とすることを目的とする。

調查対象

【調査対象者】ケアラー支援に関する活動を実施している県内の民間支援 団体

> * 本調査における民間支援団体とは、、以下の活動を 非営利で行っている団体であり、法人格の有無は問わ ない。

(主な活動内容)

- ① 相談窓口の開設、日常生活支援等の活動
- ② ケアラー同士が語り合う場の開設
- ③ 団体同士の情報交換の場の設置 など

【調査方法】庁内及び市町、社会福祉協議会を通じて把握した団体あて に回答依頼を送付(89団体)するとともに、県ホームページ及 び市町等を通じて広く調査について周知回答を依頼

【調査回答数】 44団体

主な調査項目

- (I)団体種別·活動地域
 - ·法人種別
 - ・活動に関わっている方の種別
- (2)支援対象·活動内容
 - ・支援対象、ヤングケアラーへの支援の有無
 - ・ケアラーに対する支援内容
 - ・支援や相談の実績(令和5年度)
 - 活動を始めたきっかけ
 - ・活動が周囲にもたらした変化
 - ・運営や支援の実施にあたっての課題
 - ・行政、関係機関等に期待すること

スケジュール

令和6年3~4月 庁内・市町・県社会福祉協議会に事業概要の説明

協力依頼

5~7月 関係課等で把握されている団体に関する情報提供

を依頼

5~7月 実態調査票の検討・作成

7月 有識者会議委員への意見聴取(個別実施)

8月2日 調査票送付、調査実施

県ホームページ・市町・社会福祉協議会に周知

(調査期間:~8月30日)

10月4日 有識者会議に概要報告・調査結果を公表

ケアラー支援を実施している民間支援団体に関する実態調査結果

主な結果(回答団体数=44)

○団体種別

- ・法人格を有して活動している団体が約5割。
- ○団体で主に活動をしている方
- ・ケアラー自身や元ケアラーが約5割。
- ○支援しているケアラーの属性
- ・主に障害のある方、高齢の方をお世話している・以前していた方が、 それぞれ約3割程度、ケアラー全般に対しては約1割程度。
- ・ヤングケアラーへの支援を行っている団体は約1割程度。

○活動内容

- ・ケアラー同士が集まり、語り合う場を定期的に開催するなど「ケアラー同士 で語り合う場の開設」が最も多い。
- ・次いで、介護、障害サービスの利用に係る援助など「ケアラーが抱える 問題について、行政や各種支援機関へのつなぎ」となっている。
- *主に活動している方がケアラー自身である団体では、「ケアラー同士で語り合う場の開設」や「ケアラーが抱える問題について、行政や各種支援機関へのつなぎ」を実施している団体が5割を超えている。
- ・相談窓口の設置、家事・各種手続きの代行、地方講演会などの普及啓発、 宿泊施設の提供など活動内容は多岐にわたる。

○活動のきっかけ

- ・認知症や障害のある方の支援を通じて出会った。
- ・家族のつどいなどケアラー同士で交流できる場がなく、困っている人は 必ずいるはずと思ったから。

○活動が周囲にもたらした変化

- ・「認知症や障害に対する周囲の理解に繋がった」との声がある一方、 「認知症や障害に対する正しい知識の啓発」が必要との声がある。
- ・ケアラーの悩みを共有することにより、介護不安の軽減につながっている。
- ・行政や関係機関とのつながりができた。

○運営や支援にあたっての課題

・「一緒に活動する人、同じように支援をしたいと思う人がすくないなど活動 するための人員が不足している」と回答した団体が約4割程度。

続いて、「団体の活動を継続したいが、後継者がいないなど団体の中心となる人が少ない」、「活動費などの経済面で不安がある」、「団体の管理運営面で、知識・技術などが不足していることがある」となっている。

*主に活動している方がケアラー自身である団体では、「活動するための 人員がいない・中心となる方がいない」、「情報発信ができていない、やり 方が分からない」との声が高くなっている。

○行政や関係機関等に期待すること

- ・「県民向けのケアラー支援に関する広報」が約5割となっており、次いで「団体の活動について、県民向け等の情報発信に関する支援」や「地域の支援機関の人材育成」と続いている。
- *主に活動している方がケアラー自身である団体においては、「県民向けの情報発信に関する支援」を期待する意見が多い。
- *法人格を有しない団体においては、「県民向けのケアラー支援に関する 出前講座の開催」が高くなっている。